

高東京矢高会 ニュース

矢高会ゴルフ

川越GCで開催

恒例となりました東京矢高会ゴルフコンペが、12月10日(水)川越グリーンリンクロースで開催されました。参加者はホームグラウンドの申村輝夫さん(4期高原出身)、2年連続参加の伊東順子さん(23期旧姓天川)、服部豊さん(15期出羽)と三宅良一さん(35期矢上出身)の4名でした。クラブハウスから船で荒川を渡り、いよいよスタート。太陽をいっぱい浴びながら自然を満喫。爽快感を味わいながらプレー。楽しく和気あいあいとプレーできました。終了後は全員で和やかに懇親会。次回は3組以上での開催を願い、お開きとなりました。



「大雪に思う」

高山恒子(旧姓上田15期)

高校を卒業してから、五十数年が流れ、千葉が終の棲家になりました。

サンデー毎日(?)の日々ですが、プールに通ったり、週に一度一時間、幼稚園の年長児の子守をし、「ばあば先生」として、絵本を読んだり、あやとり等をして、楽しい日々を過ごしています。

そんな一月のある朝六時、何時もはつけないテレビを何気なくつけると、いきなり「邑南町」の文字が飛び込んできました。

よく見ると、一月二十四日の大雪をメディアが取材中、雪に埋もれたおばさんを助けているシーンでした。屋根からの雪に埋もれたばかりのおばさんは、運よく取材班に見えられ、助かって本当に良かったと胸をなでお

ろしました。と同時に昭和三十八年、邑智郡を襲った豪雪を思い出しました。当時の私は十八才。高校卒業の時でした。年明けの一月か、二月頃だったと記憶していません。就職も決まり、大阪の事前研修に行くにも大変な思いをしました。

通学も四十分位の徒歩通学でしたが、雪道が大変でバス通学のクラスメート達と、学校近くの家に下宿させてもらい、学校へ通いました。

矢上の町も孤立状態になり、しばらくは物流もストップし、食べ物も保存食と乾物ばかり。旧石見町の山間部では、死者も出た様に記憶しています。あれやこれやと今回の大雪と比べても、当時の大雪が大変だったように思います。今は除雪車も出動し、美しい雪景色が広がっていることでしょう。(ニュース発刊の頃はもう雪解けでしょうか?)

発行日 平成28年4月8日
号数 第13号
発行 矢上高等学校卒業生会東京支部
発行人 山本立身 編集人 三宅良一
事務局 千葉市若葉区若松町902-12

「いこいの村しまね」から見る矢上盆地は、箱庭のようで、いつも知り合いに自慢しています。

いつまでも、美しい自然、風景が保たれます様願う昨今です。

教える事は

教わる事

坂根由里子（旧姓西田 15期）

昭和三十八年の大雪の年に高校を卒業して古里を後にし半世紀以上。京都・大阪・東京・横浜と移り住みました。古里に帰りますと、昔が懐かしく、諏訪神社、通学道、商店街と散歩に出かけます。邑南町の新聞記事やテレビ番組等で田園風景を見たり、太鼓や笛の音を聞くと、友人や肉親との楽しかった昔の事が思い出されます。

東京では、年に二・三回同級生でミニ同窓会をして、昔の話を花を咲かせています。古里の肉親も少なくなり、淋しい限りです。私は永年、設計事務所勤めていました。趣味で、書と墨彩画に三十数年前に出会い、あるきつかけで書道教室と絵の教室を開設し、五才〜八十才位の大勢の方に囲まれて過ごしています。

す。私にとりましては、楽しい貴重な時間です。いろいろな事も教わり「教える事は教わる事」を実感しています。

自らも産経国際書展や社中展に出展し、昨年は書と絵をコラボした個展を開催出来、皆さんに楽しんで頂けた様で、これも私の生き甲斐で宝物になりました。この先も現役で続けていける様、運動と里山散策で自然にふれ、健康第一を心がけて行っております。

矢高会の皆様のご健康と、ご活躍を心より願っております。

勝手に自分史

「あれから47年」

上田一夫（22期）

三宅良二さんから届く矢高会東京支部の定期便をいつも興味深く拝見させて頂いております。普段手紙も書いた事の無い自分が何かに役立つのではと思いい分史を綴ってみます。22期矢上高校普通科を卒業して上京し、信条が仕上がっていく節目に、重要な人が介在している事がわかる。

約半世紀前になろうか深い山

間に人財（人材）を求めて矢上高校に訪問されたのは、田中貴金属工業（株）先々代の社長多田さんでした。人事部長として全

国の学校に足を運び、知名度の低い会社説明をして、文字通りの金の卵を探したとの事です。そして自分が新入社員として身支度することになる訳です。後に先々代の社長が島根県浜田市の出身と知るので、年に何度かの会話にもかかわらず「お前は島根の山猿……物を分解して組み立てられるのか？」とか「田舎はどうだ……矢上高校には行くのか……等々」ローカルな会話が弾み出雲の神話の研究成果を織り交ぜてお話されました。物資が豊富に無い頃に「縛つてある紐は解くより切れ」と若い山猿にとって衝撃的なお話を下さいました。小心者の自分分は意味を捉えられずに仰天したものです。しかしカルチャーショックの後には然程（さほど）時間を要さずに、大胆にも技術畑を進むこととなります。働きながら設計の学校に通い、手書きからCADに代わり、さらに3D（3次元）へと変わるたびに必死でツールに（ばりつき、寝袋を横に各種の物を具現化させました。今なお活

躍し続ける設備と当時の自分にご褒美をあげたいと思います。

26歳の頃、会社の先輩と欧州に一月出かけた。社長指示の「欧州の文化と技術を肌で感じなさい」がテーマだった。圧倒的な技術力の差にショックが隠せず帰国後の半年は凶面イップスに陥った。以来、屈せず人に頼る事を覚え、出会いを大切にする事を覚え、先輩の教えに感謝しています。蛇足ですがその頃の欧州はすでに禁煙ムードが高く、そこを機に自分も煙草とは無縁になつていきます。40歳の頃、転勤族となり山形に10年、台湾に一年、群馬に5年の単身生活が始まります。矢高会東京支部で服部豊先輩と会い、群馬の隣町の単身赴任同士と解り、以来趣味のゴルフを月例としたオアシスのひと時を満喫させて頂いております。36歳は生理的吸収のピーク、40歳は応用知識で実力を発揮、58歳は後世への技術伝承……とセオリー通りに定年を通り過ぎ職務を全うした後は自営の技術顧問として舞い戻り、沢山の若い人に揉まれながら試行錯誤でなお進化中です。あれから47年、想像もしなかった技術の世界に入り込み、見えないゴー

ルにこれからも邁進してまいりま
す。皆様におかれましてはどうか
ぞ健康に留意されご自愛くださ
い。失礼します。追伸 3歳の頃、
父親の記念腕時計を物陰の小
石で壊し、呆然と立ちすくんだ
亡き母親の話に自分の技術ルー
ツを感じます。

私の近況

日高正行 (22期)

愛知県在住の日高正行です。
一度も支部総会に出席してお
らず大変心苦しく思っています。
皆様への挨拶がわりに筆を取り
心に浮かぶままを記させて戴き
ます。私は旧井原村樋口谷にて
昭和十四年に生を受けて爾来
今年は喜寿を迎える年令になり
ました。縁あつて昭和三十八年
名古屋市役所に奉職し収入役
で退任。観光団体の理事長を七
〇歳まで務めた後は文字通りの
晴耕雨読の生活に入り現在を
迎えています。元々百姓仕事が
好きで今では自宅横の百五十坪
の菜園で四季折々の野菜を作り、
出来栄えに自己満足したり隣
近所に配ったりしています。また
昨年六月からは近くにオーブン
した「道の駅」にも出品し売れ行

きに一喜一憂しながら楽しんで
います。

もう一つの私のライフワークは
東海島根県人会の仕事です。愛
知、岐阜、三重県の会員で構成
しており会員数は四百名ほどで、
ここ十年ばかり私が会長職を担
当しております。今年も県人会
創設六〇周年を迎えますので、
その準備など仲々大変です。ま
た、全国で愛知県にしかない北
海道から沖縄までの全国県人
会連絡協議会が結成されてお
り、各県人会同志の交流も盛ん
です。この組織の代表者も七年
ばかり私が担当しており県人会
まつりなど行催事も多く結構多
忙な毎日です。

以上が私の近況ですが一等
書きたかったのは、私が今でも年
三〜四回は故郷井原に帰ってい
ることです。勿論母(97歳)が存
命しており顔を見る為ですが、
それ以上に生まれ育った古里が
私には如何に大切か、帰郷する
毎に思いが強まります。少なく
なつた友人達と語り、田畑や山
河を巡って想い出に浸ったり心
癒しを感じるのには私だけでしょ
うか。

現在の邑南町は子育て施策
を始め全国的にも知名度が高

まり明るい前途を感じます。小
さいながらもキラッと光る町を
目指して増々発展することを祈
つて筆をおきます。

はじめて

湯浅康平 (22期)

はじめまして。平成27年4月
月より矢上高校魅力化コーデ
ィネーターとしてお仕事をさせ
ていただいております湯浅康平と
申します。

さて、矢上高校は平成27年
入学選抜試験から1学年の定
員が百二十名から九十名に減
らされ、高校関係者はもとより、
地元の中学生や地域の方々はと
ても大きな衝撃を受けました。

地元の子供達の数は八十名
前後を今後とも推移するものと
みられ、今後とも志願者が定員を
大きく下回る状況が続けば、矢
上高校が廃校になってしまいか
ねません。もし、このようなこと
が起これば、地域の活性化・定
住者人口増加といったことが実
現できず、邑南町がどんどん廃
れていきます。また、私を含めた
矢上高校卒業生の方々にとって
は母校がなくなってしまうので
す。・。現在、対策として考えて

おりますのは、矢上高校の情報
発信を更に積極的に行いたいと
思っております。今年度からホ
ームページのほかにFACEBOOK
も開始いたしました。今後も
幅広く情報発信をしていこうと
思っております。ここ数年、島根
県外から十数名の中学生が矢
上高校入学を希望してくる
状況にあります。今後も東京・
大阪などで島根県での高校生活
を考えている中学生達に積極的
にPRしていこうと思っております。
今後ともどうぞよろしくお
願いします。

しまね県立高校説明会

魅力ある学校づくりを進める島根
県内の公立高校(寮完備)が集まり「し
まね留学」に向けた合同説明会が、28
年6月26日(日)グランパークプラ
ザ(東京都港区芝浦3丁目4番1号)
会議室において開催されます。高校進
学お考えの中学生と保護者の皆さま
この機会にぜひ特色のある教育環境
に触れ、新たな進路選択の一つとし
てご検討下さい。

7月29日オープンスクール開催

矢上高校に興味のある中学生が直
接来校し、授業や部活動を行って頂け
るようオープンスクールが開催され
ます。昨年は百七十名が参加。この才

ーンスクールで興味を持った中学生が矢上高校を志望してくれる可能性が高いため、町内は勿論、県内県外まで幅広く参加予定です。

平成二十七年度のお礼

今年度年会費のお願い

本支部の経費は、皆様方からの会費・寄付金で運営されております。本年度会費をお納め頂きました皆様、ありがとうございます。大勢の方にご協力頂きました。一口千円として何口でもお納め頂くことができるようになっております。払込用紙にて、お納め頂ければ幸いです。ゆうちょ銀行からの振込の場合は手数料がかかります。本年度の会費をお納め下さいますようお願いいたします。

会費一口千円 何口でも
口座〇〇二四〇一〇一七二二七七
金融機関からの振込用 口座番号
ゆうちょ銀行〇一九(ゼロイチキユウ)
店 当座 〇〇七二二七七
口座名 矢上高校卒業生会 東京支部
10月1日以降にお振込頂きました方
平成二十七年度会費納入芳名
十口一万円 山本立身(15期)三宅弘文(12期)三口三千円 荒瀬淳(6期)石川義之(5期)伊崎悦子(14期)服部豊(15期)三宅光寛(21期)服部俊

之(15期)神田恵介(13期)酒井富雄(22期)下瀬忠枝(5期)二口二千円
三宅雅寛(23期)宮田勝(14期)渡辺誠(18期)平井美千枝(17期)滝厚江(8期)中森勝三(瑞穂13期)三宅和子(17期)三宅良二(35期)

一口千円 吉里輝子(13期)日野秋声(17期)日野勇(瑞穂9期)椿美津枝(13期)上田昭臣(17期)竹内一昭(瑞穂3期)雨谷寿子(13期)沖征広(14期)小林千賀(13期)森岡武(14期)森脇清(17期)齋藤均(19期)宮田勉(19期)岡部輝生(21期)中野恭子(28期)枝久保美千恵(10期)山本信子(13期)福岡幸雄(13期)上田敏道(19期)山田裕二(39期)竹内常年(瑞穂18期)日高文三(瑞穂1期)佐々木チツ子(6期)植田豊(13期)日向護(17期)

総会開催の

ご案内

最大のイベント、「支部総会」第41回となる本年度は5月22日(日曜日)に、「御茶ノ水 ホテルジュラク」で開催することになりました。邑南町からも卒業生会や校長先生にもご出席頂く予定です。還暦、古稀、喜寿、米寿、傘寿、卒寿等をお迎えの先輩方、この年だけの出席も大歓迎ですので、同期の方と

お誘い合わせの上、ぜひ出席頂き、「元気な顔を見せちゃんさい」。ささやかですが記念品を用意しております。何かとお忙しいかと存じますが、万障お繰り合わせの上お出かけ下さい。

日時 5月22日

日曜日 正午

場所 お茶の水

「ホテルジュラク」

千代田区淡路町2-9

電話〇三一一三三三二五二一七二二二

会費 男性八、〇〇〇円

女性六、〇〇〇円

(当日会場にて申し受けます)
(準備の都合上、5月10日までに同封の返信用はがきにて、出欠をご連絡下さいませ) 宜しくお願いします

矢上の方言

はあ 忘れんかったらう。矢上弁、たまにやあ思ひ出しちゃんさいよ。前号の問題「きびしゃ」、いたしかったかいな。正解は「腫 かかと」でした。夜伽で正座してましたら、後ろの人に「きびしゃ、が破れとるぞ」と言われ、恥ずかし

い思いをしたことも。正解しんかった中から抽選で5名の方に記念品をあげるで。記念品は総会の時にあげるけえ、正解しんかった方は必ず出ちゃんさいよ。楽しみにしとつちゃんさい。

さあ、今回の矢上弁の問題は「かやる」。「かえる」とも「かかる」とも違う矢上弁の「かやる」とは、よお思ひ出しんさらんかったら、矢上の親戚や同級生に電話して聞きんかったもええぞ。

編集後記

桜満開の季節となりました。今年も早4月。月日の経つのがなんと早いこと。東日本大震災から5年。

前号は2ページと3ページの印刷を間違っていました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

今号に原稿お寄せ頂きましたの皆様、有難うございました。御礼申し上げます。次回発行は、9月の予定です。皆様からの原稿をお待ちしております。十分注意しておりますが誤字脱字、見ずらいところがありましたら、どうぞお許し下さい。お気づきの点がありましたら何なりと申し付け下さい。山本支部長のご理解を頂き、昨年に続き浅草での安来節の公演のチラシを同封させて頂きました。こちらもどうぞお出かけ下さい。いよいよ春本番、花粉症が心配ですがどうぞご自愛下さい。

三宅 良二(35期 矢上出身)